

子ども総合計画（案）パブリックコメント手続 実施結果

- 1 意見募集期間 令和元年12月19日（木）から令和2年1月20日（月）まで
- 2 意見提出人数 2人
- 3 意見件数 34件
- 4 意見への対応
- A 意見を踏まえて、案の修正をするもの 25件
 - B 意見の主旨や内容を盛り込み済みであり、考え方を説明するもの 4件
 - C 今後の事業実施の参考とするもの 4件
 - D その他（本計画案に対する意見でないものなど） 1件

No.	意見	分野	対応	市の考え方
1	この計画を広く市民に読んでもらいたいと思っています。 そのために、日常生活で使う機会の少ない専門用語（？）には、「P100の【新規】出張相談（アウトリーチ）」のように日本語にさせていただくか、解説をつけていただきたいと思います。私が分からなかった言葉には「ゲートキーパー」「ネットリテラシー」「インフラ」「スキル」「ロールモデル」「シティプロモーション」「ムーブイン」等、カタカナ語が多かったです。	全体	A	ご意見をいただきありがとうございます。 制度・事業名として使われている言葉はそのままとしますが、ご意見のとおり、分かりやすい言葉、または解説を入れるなど可能な限り対応をいたします。
2	P 2 本文の1行目冒頭 わが国の急速な少子・高齢化の進展は・・・ 「進展」の意味は「すすみひろがる」とか「進歩発展する」のように思っています。この文章は、「少子・高齢化」を問題点として捉えているように読み取れますので、「進展」という肯定的な理解に繋がる表現は、読み手がこの言葉の使い方を間違っておぼえることに繋がらないか心配です。ここでは「わが国の急速な少子・高齢化が進み・・・」ではどうかと思います。	第1 全体構想	A	ご意見・ご提案をいただきありがとうございます。 ご意見を参考に、表現を修正いたします。

No.	意見	分野	対応	市の考え方
3	<p>P 2 本文の4行目・・・地域におけるコミュニティの希薄化・・・私の理解では、「コミュニティ」の意味は、「共同体」「地域（その人々）」であり、「コミュニティの希薄化」だと、分かりにくいように思います。伝えたいのは「地域における人間関係の希薄化」ではないでしょうか。</p> <p>P34の1行目では「地域のつながりの希薄化」となっています。私には、こちらの表現の方がスッキリします。</p>	第1 全体構想	A	<p>ご意見・ご提案をいただきありがとうございます。ご意見を参考に、表現を修正いたします。</p>
4	<p>P 23 赤ちゃんサロン・・・その保護者を対象に、赤ちゃんとそのお母さんが集まるサロンを行います。ここの文章の前半と後半は同じ内容のように思えます。また、前半では「保護者」と言っているところを後半では「お母さん」とすることで、母親ではない保護者が、この文章を読んでどう感じるか気になりました。後半部分は、サロンの中身が分かるように、現在実施している具体例を挙げたらどうかと思いました。</p>	第2 第1章 第1節2 子どもの健康の保持・増進	A	<p>ご意見・ご提案をいただきありがとうございます。</p> <p>「7か月までの赤ちゃんとその保護者を対象に、赤ちゃんとそのお母さんの集まるサロンを行います。」</p> <p>→「7か月までの赤ちゃんとその保護者の方が、自由に集えるサロンを月に1回開催します。」に変更します。</p>
5	<p>マタニティ教室への家族の参加向上だけでなく父親向け冊子の配布、父親学級・母親学級・両親学級それぞれの開設があるとよい。→父親&母親になるに向けて、相手のことをよく知る、思いやる姿勢を育てるためにも開催してほしい。特に男性に、女性の内面的変化や身体的変化を知ってほしい。そして良い父&母に縛られる必要はないこと、周りの手も借りながら育てていけばいいことを伝えて欲しい。家事代行サービスや家電にも頼っていくこともありだと伝えてもらえるだけでも罪悪感が減ると思う。</p>	第2 第1章 第1節2 子どもの健康の保持・増進	C	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>現在は、母子健康手帳交付時に、父親になる男性への知識普及をめざし「父子手帳」をお渡ししています。教室の開催時にも男性の役割をお伝えするようにしています。しかし、教室開催だけでは、限られた方の参加となってしまうため、今後は全員の妊婦さんと保健師が面談する母子健康手帳交付時に、先輩ママからの声などを紹介し、抱え込まない育児をサポートできるよう配慮します。</p>

No.	意見	分野	対応	市の考え方
6	こんにちは赤ちゃん訪問は嬉しかったのでぜひ続けて欲しい。	第2章 第1節2 子ども7 健康の保持・増進	B	ご意見をいただきありがとうございます。 子育て支援に重要な事業として、児童福祉法に基づき、事業を継続していきます。
7	<p>P24 児童生活習慣病対策「生活習慣病」との表現</p> <p>雨宮処凛編著の「この国の不寛容の果てに～相模原事件と私たちの時代～」で、雨宮と対談した岩永直子（BuzzFeedJapan 記者）が次のようなことを話していました。</p> <p>「・・・貧困は健康の悪化に直結します。たとえば、もともと母親の栄養状態が悪いと、子どもはお腹の中ですでに糖尿病のリスクを持って生まれてしまうという可能性が研究で指摘されています。そして、生まれた家庭が貧しければ炭水化物主体のジャンクな食事が増えますし、運動の機会も減り、教育が不十分だと自分の健康管理への意識も育たないし、進学や就職も不利になる。そういうことが積もり積もって不健康になるのはまったく自己責任の問題ではないんです。「生活習慣病」というのは、言葉自体が個人の習慣とか意識に起因する病気というニュアンスを与えるのでよくないと思っています。・・・」</p> <p>どう表現したらいいのか、現在の私に答えはありませんが、社会的に弱い立場にある人々（例：貧困等々）のことを考えると、この言葉（生活習慣病）のままでは、良くないように思います。すぐに変更するのは難しいかもしれませんが、今後の課題として、ご検討ください。</p>	第2章 第1節2 子どもの健康の保持・増進	C	ご意見をいただきありがとうございます。 現在は、児童の脂質、糖代謝、肝機能等の状態を把握する機会を提供し、これをきっかけとして、家庭への支援を目指しています。生活習慣というのは、特に児童では「家庭環境」にも影響されると認識しておりますが、学童期の児童に正しい知識を伝え、自分の心と体を大切にできるような教育も重要だと考えております。ご意見は今後の参考にさせていただきます。

No.	意見	分野	対応	市の考え方
8	P29 表の「対象者」の欄「親及び親子」という言葉 他のところでは「保護者」という表現ですが、ここは「親」となっていますが、いいでしょうか。	第2章 第1節 第2節1 乳児保育・幼児教育の推進	A	ご意見をいただきありがとうございます。 「保護者及び子どもと保護者」に修正します。
9	P30 成果目標 「成果内容・指標」での「父親」という言葉、祖父の場合も考えられるので「男性」でもいいのかなと思いました。	第2章 第1節 第2節1 乳児保育・幼児教育の推進	A	ご意見をいただきありがとうございます。 夫婦で子育てをしているケースで、子の母親にとって子の父親の参画が孤立感・不安感の解消に重要であることから、父親となっています。このような意図が分かるように現状と課題を一部修正します。
10	P31 事業と取組み 「制度・事業名」「内容」での「親子」という言葉 祖父母等が保護者のことも考えられるので「子どもとその保護者」でもいいのかなと思いました。同じく「父親」という言葉・・・P30と同じです。	第2章 第1節 第2節1 乳児保育・幼児教育の推進	A	ご意見・ご提案をいただきありがとうございます。 ご意見を参考に、表現を修正いたします。 なお、「父親参加育児講座」に関しては、上記No.9の目的で土日に開催するものですので、そのままとし、祖父母向け講座として、「孫育て応援講座」を加えました。
11	共働き家庭として、保育園&保育士さんの存在は本当にありがたい。保育士さんを集めるための手数料補助だけでなく、「保育士さんにとって働きたくなる環境を整える」ことにも力を入れてほしい。例えば給料をきちんと保障する(賃金が安いと聞きます)、保育士さん自身も産休・育休を満足に取れる、また育休明けの時短勤務がきちんとできるようにする。介護についても同様だと思う。保育士さんが仕事を続けられるように整えてほしい。	第2章 第1節 第2節2 保育サービスの充実	C	具体的なお意見、ご提案をいただき、ありがとうございます。 保育士の確保、就労継続支援のため、労働環境の整備を始め、保育職場の魅力向上につながる効果的な施策を、今後も考えてまいります。 いただいたご意見は、今後の事業実施の参考とさせていただきます。

No.	意見	分野	対応	市の考え方
12	一時預かりについてはアナウンスが少なく、どう利用していいかわからなかった。他市では大掃除や美容院などで利用してとても助かったということを知った。具体的にどう利用できるのかを両親学級などで話してもらえると参考になる。	第2章 第1章 第2節 2 保育サービスの充実	C	具体的なお意見、ご提案をいただき、ありがとうございます。 一時預かり保育は理由を問わず、一時的に児童を保育する制度で、生後6か月を超えた0～2歳の未就園児を対象として実施しております。アナウンスできる機会として、赤ちゃんのいらっしゃるすべてのご家庭には、看護師等が生後2～4か月頃に「こんにちは赤ちゃん訪問（乳児家庭全戸訪問事業）」に伺います。その際に、様々な制度を掲載した「瀬戸市子育てガイド」をお配りして周知に努めています。一時預かりの具体的な利用方法については、担当課である保育課にお問い合わせいただくこととなります。
13	病児保育について。何度か使わせていただいているが、正直使いにくい。低料金で預かっていただけること、今のところ希望が叶わなかった事はないことはありがたい状況である。「朝発熱→病院→9時になったらすぐファミサポへ電話→受診&薬の受け取りしつつファミサポとの連絡を取り合う→決まり次第職場にも連絡」という流れがすごく大変。インフルの際は連続で預けられるので手間は減るが… ファミサポへの連絡は必要不可欠だと思うが、いつでも受け入れられるという確証があると一番ありがたい。仕事との兼ね合いも考えやすい。もしくは、連絡を電話1回で預けられるかがわかるのもありがたい。何回も電話でやりとりするのが大変。→これはインターネットで空き状況が確認できるようにするのもいいと思う。「何時から何時はあと何人可」など…	第2章 第1章 第2節 2 保育サービスの充実	D	具体的なお意見、ご提案をいただき、ありがとうございます。 本計画案に対するご意見ではございませんが、病児保育は4月からファミリーサポート事業から離れ、陶生病院敷地内で実施する予定となっています。

No.	意見	分野	対応	市の考え方
14	<p>P42 放課後児童クラブ 放課後学級</p> <p>市教委事務の点検評価報告書では「モアスクール」との言葉が使っており、放課後児童クラブと放課後学級を合わせた総称との説明がついています。そして、瀬戸市では「モアスクール」という言い方が日常的に使われているように思います。(そう思っているのは私だけかもしれませんが) いわゆる「学童」とか「モアスクール」と、この放課後児童クラブや放課後学級との関係(?)が分かるような説明が欲しいと思いました。</p>	<p>第2章 第1章 第3節2</p> <p>放課後児童クラブ、放課後学級の整備・充実</p>	B	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>「モアスクール」という言葉は、学校によって指す意味が異なるため、誤解を招くというご意見をいただいております。計画書など公式には、モアスクールという表現は使わず、「放課後児童クラブ(「学童」の正式名称)」、「放課後学級」という表現で表していくこととしたため、子ども総合計画の中ではモアスクールの説明は表記いたしません。</p>
15	<p>P43 成果内容の2つ目の「・」の文章で「取り組み」となっています。他のところは「取組み」です。</p>	<p>第2章 第1章 第3節2</p> <p>放課後児童クラブ、放課後学級の整備・充実</p>	A	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>「取組み」に修正します。</p>
16	<p>P44 (2) 放課後学級(放課後子供教室)</p> <p>他のところは「子ども」ですが、ここは「子供」となっています。</p>	<p>第2章 第1章 第3節2</p> <p>放課後児童クラブ、放課後学級の整備・充実</p>	B	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>「放課後子供教室」は文部科学省の事業名で記載しており、修正はいたしません。</p>
17	<p>P48 ア 市の総合相談窓口【新規】の内容の7行目「ハイリスク対応」</p> <p>「ハイリスク対応」とはどんなことが分からないので、差し支えない範囲で例を挙げていただくか、違う言葉に変えていただけたらと思います。</p>	<p>第2章 第1章 第4節1</p> <p>子ども・若者に関する相談体制の充実</p>	A	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>ハイリスクの前に「児童虐待などの」という言葉を挿入します。</p>

No.	意見	分野	対応	市の考え方
18	<p>P50 エ 子育ての「家庭児童相談」の「内容」「児童とその保護者の親子関係」</p> <p>「親子」を削除して、「児童とその保護者の関係」でいいのではないのでしょうか。またここは「子ども」ではなく「児童」となっていますがいいのでしょうか。</p>	<p>第2章 第1節 第4節1</p> <p>子ども・若者に関する相談体制の充実</p>	A	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>内容が重複しているため「児童とその保護者の親子関係」を「親子関係」と修正します。</p>
19	<p>P80 最初にある表「社会的養護」の内容「児童福祉法第38条にもとづき」に続く文章が、法律の文章そのままのためか、他のところと比べると分かりにくく感じます。平易な表現にできないのでしょうか。</p>	<p>第2章 第2節 第1節2</p> <p>児童虐待防止対策の強化</p>	A	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>「配偶者のいない女性等とその子どもを一時的に施設に保護し、退所後に自立した生活を送ることができるように就労支援や子どもの教育に関する助言などを行い、母子の生活を総合的に支援します。」と修正します。</p>
20	<p>P82・83 外国人の子どもや・・・の全般について</p> <p>外国籍の子どもには、就学義務がないため、瀬戸市にも、小中学校に通っていない子どもたちがいるのではないのでしょうか。しかし、不就学の子どもの実態把握はなかなか大変だと思います。このことについて、課題と捉えていることを示しておく必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>第2章 第2節 第1節3</p> <p>外国人の子どもやその家族への支援</p>	A	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>ご意見を参考に表現を修正いたします。これらの対応として、各学校では訪問やポスティングなどを行っています。</p>
21	<p>P82・83 外国人の子どもや・・・の全般について</p> <p>また、すでにご存知のこととは思いますが、日本語指導が必要なのは、外国籍の児童以外にも、子どもと過ごす時間が長い保護者が日本語が苦手な場合（例：外で働いている父親が日本人で家庭で主婦として働いている母親が外国人）は、日本人の子どもでも、日本語指導が必要になってきます。</p> <p>今年度6月の講演会で知った愛知県で日本語教育を必要とする子どもの人数は9275人です。このうち、7277</p>	<p>第2章 第2節 第1節3</p> <p>外国人の子どもやその家族への支援</p>	A	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>現状と課題に日本語教育の必要性のある生徒数について追記を行いました。</p>

No.	意見	分野	対応	市の考え方
	<p>人は日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数、1998人は日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数です。そして、平成30年度版「瀬戸市の教育」では、日本語教育が必要な外国籍の児童生徒は171人、日本国籍の児童生徒は3人です。</p> <p>このことについても、どこかで触れておく必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>また、そろそろ、日本人とか外国人とか、国籍でくくることをやめなければならなくなっているように思っています。(LGBTも同じ様に思っています。最近ではLGBTとの言い方よりもSOGIという言い方をするようになってきたと聞いています。)</p>			
22	<p>P84 現状と課題の下から5行目(最後の段落) 発達に特性をもつ子ども・・・</p> <p>「もつ」となっています。「障害のある」という言い方にそろえて「特性のある」の方がいいのではないかと思います。そうなると続く文章は「その特性に合わせながら成長します。」になるのかなと思いました。ご検討ください。</p>	<p>第2章 第1節4 障害(又はその疑い)のある子ども・若者への支援</p>	A	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>ご意見を参考に、表現を修正いたします。</p>
23	<p>P85 目指す姿①②</p> <p>①本人支援 発達に弱さを持つ子どもが・・・</p> <p>「発達に弱さを持つ子ども」とありますが、「持つ」との表現が気になります。また、「発達に弱さがある」とはどんなことなのか、またその子どもが、どんな子どもなのか良く分かりません。読み手の勝手な理解や誤解に繋がらないか心配です。その子どもの特性を生かすような表現ができたらと思っています。(P84では「発達に特性を『もつ』とヒラガナでしたが、ここは「持つ」と漢字が使っています。)</p>	<p>第2章 第1節4 障害(又はその疑い)のある子ども・若者への支援</p>	A	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>ご意見を参考に、表現を修正いたします。</p>

No.	意見	分野	対応	市の考え方
	<p>②家族支援 家族が障害や発達の凸凹への心配により</p> <p>「発達の凸凹への心配」とはどんな心配なのでしょう。ここも、読み手の誤解に繋がらないか心配です。障害は個性であるとも言います。後半部分の文章だけでも良いように思います。また、「・・・理解を深めるとともに、保護者同士・・・」の「,」が赤くなっています。</p>			
24	<p>P87 表に各種事業が掲げてありますが、「県立瀬戸つばき特別支援学校」が相談活動をしているようなら載せたらどうかと思いました。春日台特別支援学校の「あゆみ相談」は、以前の「瀬戸市の教育」には載っていたように思います。</p>	<p>第2章 第1節4</p> <p>障害（又はその疑い）のある子ども・若者への支援</p>	A	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>ご意見を参考に、掲載いたします。</p>
25	<p>P102 アンケートの結果で、「障害」ではなく「障がい（発達障がい）」となっていますが、いいのでしょうか。</p>	<p>第2章 第1節7</p> <p>地域に根ざした非行防止等健全育成</p>	A	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>「障害」に修正します。</p>
26	<p>P106 現状と課題の2行目「スマートフォン（格安スマートフォン等を含む）・・・」とありますが。この「等」にはどんなものがあるのか気になりました。</p>	<p>第2章 第1節8</p> <p>インターネット普及への対応</p>	B	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>「携帯電話の契約期間が切れたスマートフォン」です。</p>
27	<p>P113 最後の行「取り組み」となっています。</p>	<p>第2章 第1節</p> <p>子どもの権利</p>	A	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>「取り組み」に修正します。</p>

No.	意見	分野	対応	市の考え方
28	<p>P115 事業と取組み 制度・事業名の「子どもの違いを認め合う教育」とその内容の3行目「一人ひとりの子どもの違いを・・・」</p> <p>いずれも「子どもの」を削除して「違いを認め合う教育」の方がスッキリするように思いますがいかがでしょうか。</p>	<p>第2章 第3章 第1節</p> <p>子どもの権利</p>	A	<p>ご意見・ご提案をいただきありがとうございます。</p> <p>制度・事業名はそのままとし、文中の「子どもの」を削除します。</p>
29	<p>P116 第2節1 「現状と課題」の8行目「取組み」となっています。</p>	<p>第2章 第3章 第2節1</p> <p>希望する人が子どもを持てる基盤づくり</p>	A	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>「取組み」に修正します。</p>
30	<p>P116 第2節1 「現状と課題」の10～11行目「・・・夫の休日・・・正の関係性・・・」とありますが、「正の関係性」とはどんなことを伝えたいのかがよく分かりません。また、なぜ「関係」でなくて「関係性」なのでしょう。</p>	<p>第2章 第3章 第2節1</p> <p>希望する人が子どもを持てる基盤づくり</p>	A	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>国の調査(p118 中段のグラフ参照)により、「夫が休日に家事・育児をする時間が長くなるほど、第二子以降を出生する割合が高くなっていく（正の関係性）」ことが分かっており、希望する人が理想の子どもの人数を出産するために、夫（配偶者）の家事・育児への参画が大きく影響することを伝えています。</p> <p>「正の関係性」は、内閣府のホームページ上での表現をそのまま利用しています。</p> <p>分かりやすくするため、上記の主旨を本文中に盛り込み修正します。</p>
31	<p>P119 「事業と取組み」の「制度・事業名」の「父親・男性を対象とした・・・」となっているので、内容の文章も同じ様に「父親・男性」としたらどうでしょうか。</p>	<p>第2章 第3章 第2節2</p> <p>ライフ・ワーク・バランスの推進</p>	A	<p>ご意見・ご提案をいただきありがとうございます。</p> <p>「父親」を削除し、文章の組立てを少し修正します。</p>

No.	意見	分野	対応	市の考え方
32	P120 下から3行目「取り組み」となっています。	第2章 第3章 第2節2 ライフ・ワーク・バランスの推進	A	ご意見をいただきありがとうございます。 「取組み」に修正します。
33	P122 1行目「少子化の進展」とありますが、最初に書いたことと同じように、ここで「進展」を使うのが相応しいのかどうか気になります。ここでは「少子化が進むとともに地域のつながりが希薄化する中、・・・」とか「進む少子化や地域のつながりが希薄化・・・」くらいではどうかと思いましたが、まだスッキリしません。(すみません、私の文章力不足です。)	第2章 第3章 第2節3 地域、社会との連携	A	ご意見・ご提案をいただきありがとうございます。 ご意見を参考に、表現を修正いたします。
34	P125 「現状と課題」の1行目「近年、各地で都市化、少子化が進展し・・・」とあります。ここも、最初に書いたことと同じです。ここでは「・・・都市化、少子化が進み・・・」ではどうかと思いました。	第2章 第3章 第3節1 子ども・子育て環境の充実	A	ご意見・ご提案をいただきありがとうございます。 ご意見を参考に、表現を修正いたします。